



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月7日

上場会社名 日本システム技術株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4323 URL http://www.jast.jp
 代表者 （役職名） 代表取締役社長執行役員 （氏名） 平林 武昭
 問合せ先責任者 （役職名） 取締役執行役員財務部長 （氏名） 大門 紀章 TEL 06-4560-1000
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 アナリスト向け

百万円未満切捨て

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,007	6.7	△13	—	21	△31.5	△14	—
25年3月期第2四半期	4,692	3.8	17	△29.2	30	△27.3	1	—

（注）包括利益 26年3月期第2四半期 15百万円（—％） 25年3月期第2四半期 △1百万円（—％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△3.08	—
25年3月期第2四半期	0.40	0.39

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	7,597	4,405	57.1	904.87
25年3月期	8,050	4,489	55.0	929.70

（参考）自己資本 26年3月期第2四半期 4,340百万円 25年3月期 4,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	25.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	7.5	400	27.3	450	26.4	225	33.2	47.32

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	5,161,130株	25年3月期	5,128,330株
26年3月期2Q	364,210株	25年3月期	364,140株
26年3月期2Q	4,774,834株	25年3月期2Q	4,752,339株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
5. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における、当社及び連結子会社からなる企業集団（以下「当社グループ」といいます。）の業績は、売上高50億7百万円（前年同期比6.7%増）、営業損失13百万円（前年同期は営業利益17百万円）、経常利益21百万円（前年同期比31.5%減）、四半期純損失14百万円（前年同期は四半期純利益1百万円）と、前年同期と比較して増収減益となったものの、概ね当初計画に沿った推移と判断しております。なお、セグメント別の内訳は以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業（受注ソフトウェアの個別受託開発）につきましては、通信業及び教育機関向け案件は減少いたしました。サービス・流通業、製造業及び金融・保険・証券業向け案件が増加し、売上高32億19百万円（前年同期比8.6%増）、営業利益26百万円（前年同期は営業損失23百万円）の増収増益となりました。

次に、パッケージ事業（学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス）につきましては、大学向けP P（プログラム・プロダクト）販売及び仕入販売は減少し、保守、導入支援及びE U C（End User Computing：パッケージの周辺システムの受託開発）が増加した結果、売上高7億52百万円（前年同期比9.3%減）、営業利益8百万円（前年同期比93.7%減）の減収減益となりました。

次に、システム販売事業（I T機器の販売及び情報通信インフラの構築）につきましては、大学向け機器販売は減少いたしました。公共系S I（システム・インテグレーション）案件が大幅に増加し、売上高9億31百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益40百万円（前年同期比24.4%増）の増収増益となりました。

最後に、医療ビッグデータ事業（医療情報データの点検、分析及び関連サービス）につきましては、レセプト自動点検サービスに加え、通知サービス及びデータ分析等のサービス拡充により、契約を着実に伸ばした結果、売上高1億3百万円（前年同期比192.1%増）、営業損失88百万円（前年同期は営業損失1億22百万円）の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

まず、流動資産の残高は54億88百万円（前連結会計年度末比6億42百万円の減）となりました。これは主として短期借入金等に伴う現金及び預金の増加並びに前連結会計年度末の売上案件の入金に伴う売掛金の減少の増減の結果であります。また、固定資産の残高は21億8百万円（同1億89百万円の増）となりました。これは主として長期預金の預入による増加及び投資有価証券の取得による増加であります。

次に、流動負債の残高は18億14百万円（同3億80百万円の減）となりました。これは主として短期借入金の増加並びに前連結会計年度末の支払手形及び買掛金の支払及び法人税等の支払による減少の増減の結果であります。また、固定負債の残高は13億77百万円（同11百万円の増）となりました。

最後に、純資産の合計残高は44億5百万円（同84百万円の減）となりました。これは主として利益配当金の支払によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の状況は、期首の資金残高16億9百万円より2億62百万円増加し、18億72百万円となりました。

なお、各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

まず、営業活動によるキャッシュ・フローは、1億39百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は2億92百万円の収入）となりました。この差額は主として売上債権及びたな卸資産による増加、仕入債務及び前受金による減少の増減の結果であります。

次に、投資活動によるキャッシュ・フローは、26百万円の支出（同1億27百万円の支出）となりました。この差額は主として差入保証金の返戻による増加並びに投資有価証券の取得による減少の増減の結果であります。

最後に、財務活動によるキャッシュ・フローは、1億47百万円の収入（同1億51百万円の支出）となりました。この差額は主として短期借入金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を背景とした円安・株高を背景に、景気は緩やかな回復基調にあります。米国の量的緩和の縮小・解除観測、中国をはじめとした新興国の景気減速懸念など、国内景気の押し下げリスク要因もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

国内IT産業につきましては、直近の統計（経済産業省、特定サービス産業動態統計8月確報）において、売上高前年同月比のプラス傾向を維持しており、業界全体としては回復基調で推移しておりますが、上で述べたように景気の先行きは不透明な状況を背景に、回復力はまだまだ脆弱であると認識しております。

このように足元はまだまだ厳しい状況であります。当社グループにおきましては年度当初に掲げた重点施策を着実に実行し、業績計画の達成を図りたく考えております。なお、事業別には以下のとおりとなっております。

まず、ソフトウェア事業においては、東京、大阪の各本社の地域別事業体制を推進しており、東京本社ではビッグデータビジネスの本格化を狙い2事業部体制に再編し、大阪本社では新規ソリューションの企画・提案部門を新設することにより、引き続き収益基盤の強化並びに提案型営業の推進に取り組み、業績の継続拡大を実現する所存です。これに加え、金融関連部門は地域別3部制に再編し、受託開発型ビジネスを継続拡大するとともに金融機関向け情報系統合パッケージ「BankNeo」の販売実績拡大に取り組んでまいります。

次に、パッケージ事業においては、関東圏及び関西圏にそれぞれ独立して設置した事業部を中心に、各地域に密着して強力にシェア拡大を図るとともに、情報端末やホスティングサービスなど最新の文教ITサービスを提供してまいります。加えて、主力プロダクトの次世代製品の開発、アライアンスの推進並びに中国国内の大学向けパッケージ開発にも着手し、学校業務改革パッケージ「GAKUEN」を、文教市場において圧倒的ブランドとして広く認められるよう引き続き取り組んでまいります。

次に、システム販売事業につきましては、SEサービス等高収益分野の主要顧客の拡大及び新規顧客の獲得に注力するとともに、クラウド技術を利用した新ソリューションの立上げ等、新たなビジネス基盤構築にも取り組み、業績の継続拡大を図ります。

最後に、医療ビッグデータ事業につきましては、事業部長を専任化するとともにアドバイザー機能充実のため担当顧問を設置し、また、新たに当社のレセプト点検・分析システムを点検事業会社が利用できるクラウドサービスも開始し、独立事業として業績に寄与するよう取り組んでまいります。

これらを踏まえ平成26年3月期の連結業績予想は平成25年5月10日付の当初発表どおり、売上高109億円（前連結会計年度比7.5%増）、営業利益4億円（同27.3%増）、経常利益4億50百万円（同26.4%増）、当期純利益2億25百万円（同33.2%増）を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,938,177	3,113,585
受取手形及び売掛金	2,337,520	1,741,654
商品及び製品	145,160	29,807
仕掛品	291,906	270,583
原材料及び貯蔵品	3,112	3,312
繰延税金資産	194,068	173,250
その他	224,350	158,773
貸倒引当金	△3,056	△2,593
流動資産合計	6,131,241	5,488,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	550,476	550,476
減価償却累計額	△232,452	△250,731
建物及び構築物(純額)	318,024	299,745
土地	142,361	142,361
その他	240,953	248,793
減価償却累計額	△144,711	△157,735
その他(純額)	96,242	91,057
有形固定資産合計	556,627	533,164
無形固定資産		
のれん	35,338	31,180
ソフトウェア	18,563	37,571
その他	7,189	7,189
無形固定資産合計	61,091	75,942
投資その他の資産		
投資有価証券	233,938	368,753
長期貸付金	2,694	—
繰延税金資産	245,413	239,661
差入保証金	329,950	299,213
前払年金費用	115,869	123,723
その他	433,876	525,845
貸倒引当金	△60,549	△57,588
投資その他の資産合計	1,301,192	1,499,609
固定資産合計	1,918,912	2,108,716
資産合計	8,050,153	7,597,089

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	901,615	422,142
短期借入金	17,309	267,870
1年内返済予定の長期借入金	2,400	2,400
未払法人税等	154,452	33,376
賞与引当金	383,366	350,457
役員賞与引当金	24,829	16,334
その他	710,917	721,442
流動負債合計	2,194,889	1,814,023
固定負債		
長期借入金	4,200	3,000
退職給付引当金	888,617	887,862
役員退職慰労引当金	397,697	412,013
その他	75,209	74,686
固定負債合計	1,365,724	1,377,562
負債合計	3,560,614	3,191,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	924,223	934,364
資本剰余金	885,862	896,002
利益剰余金	2,865,993	2,732,181
自己株式	△266,494	△266,539
株主資本合計	4,409,584	4,296,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,414	56,794
為替換算調整勘定	△14,720	△12,223
その他の包括利益累計額合計	19,694	44,570
新株予約権	984	951
少数株主持分	59,275	63,972
純資産合計	4,489,539	4,405,504
負債純資産合計	8,050,153	7,597,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	4,692,763	5,007,143
売上原価	3,819,195	4,137,175
売上総利益	873,567	869,967
販売費及び一般管理費	※1 855,757	※1 883,930
営業利益又は営業損失(△)	17,810	△13,962
営業外収益		
受取利息	4,650	4,862
受取配当金	2,510	1,563
受取賃貸料	7,456	7,684
助成金収入	1,595	19,437
その他	2,951	7,566
営業外収益合計	19,165	41,114
営業外費用		
支払利息	888	818
賃貸費用	4,189	4,077
その他	1,001	1,077
営業外費用合計	6,079	5,974
経常利益	30,895	21,177
税金等調整前四半期純利益	30,895	21,177
法人税等	28,297	36,039
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,598	△14,861
少数株主利益又は少数株主損失(△)	691	△154
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,907	△14,707

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	2,598	△14,861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,615	22,379
為替換算調整勘定	705	8,429
その他の包括利益合計	△3,909	30,809
四半期包括利益	△1,311	15,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,563	10,168
少数株主に係る四半期包括利益	1,252	5,778

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	30,895	21,177
減価償却費	22,100	36,050
ソフトウェア償却費	4,544	5,550
のれん償却額	2,078	4,157
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,045	△32,908
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,500	△1,651
前払年金費用の増減額 (△は増加)	4,576	△7,854
受取利息及び受取配当金	△7,160	△6,426
支払利息	888	818
売上債権の増減額 (△は増加)	263,383	597,816
前受金の増減額 (△は減少)	274,980	170,626
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△135,509	137,729
仕入債務の増減額 (△は減少)	△47,198	△479,641
その他	18,302	△167,416
小計	455,429	278,027
利息及び配当金の受取額	7,400	6,205
利息の支払額	△888	△914
法人税等の支払額	△169,812	△143,791
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,127	139,527
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△4,980	△6,748
有形固定資産の取得による支出	△39,403	△10,644
ソフトウェアの取得による支出	△217	△24,558
投資有価証券の取得による支出	△1,182	△101,030
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△18,788	—
保険積立金の解約による収入	—	8,642
差入保証金の差入による支出	△66,043	△509
差入保証金の回収による収入	5,556	108,079
その他	△2,812	△135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,872	△26,905
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△2,983	248,831
長期借入金の返済による支出	△33,087	△1,200
株式の発行による収入	4,260	20,248
自己株式の取得による支出	—	△44
配当金の支払額	△118,689	△119,104
少数株主への配当金の支払額	△478	△1,283
その他	△150	△120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,128	147,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	76	3,004
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,203	262,953
現金及び現金同等物の期首残高	2,015,704	1,609,962
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,028,907	※1 1,872,916

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	2,965,553	828,815	863,022	35,372	4,692,763	—	4,692,763
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,866	—	23,795	—	25,661	△25,661	—
計	2,967,419	828,815	886,818	35,372	4,718,425	△25,661	4,692,763
セグメント利益 又は損失(△)	△23,037	131,326	32,179	△122,658	17,810	—	17,810

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益又は損失の調整額はありません。

2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

ソフトウェア事業において、当第2四半期連結会計期間に株式会社新日本ニーズ及びSafeNeeds株式会社の株式を取得し連結子会社としております。当該事象によるのれんの発生額は41,574千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソフトウェア 事業	パッケージ 事業	システム 販売事業	医療ビッグ データ事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
1. 外部顧客への売上高	3,219,944	752,046	931,845	103,307	5,007,143	—	5,007,143
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,308	—	20,714	—	26,022	△26,022	—
計	3,225,252	752,046	952,559	103,307	5,033,166	△26,022	5,007,143
セグメント利益 又は損失(△)	26,424	8,268	40,028	△88,683	△13,962	—	△13,962

(注) 1. 全ての営業費用は各報告セグメントに配賦しているため、セグメント利益又は損失の調整額はありません。

2. セグメント損失は連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、報告セグメントの事業区分は「ソフトウェア事業」、「パッケージ事業」及び「システム販売事業」の3事業区分に分類しておりましたが、第1四半期連結会計期間から、セグメント情報に与える金額の重要性が増したことにより、グループ内の管理手法を変更し、「医療ビッグデータ事業」(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)を報告セグメントとして開示しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成した結果を「I 前第2四半期連結累計期間 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

5. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

第2四半期連結会計期間より、「4. 四半期連結財務諸表(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおり、報告セグメントの区分を変更しております。なお、前年同四半期比につきましては、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後の区分に基づき算定し比較しております。

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業(千円)	2,663,343	106.5
パッケージ事業(千円)	551,183	103.2
システム販売事業(千円)	785,290	109.5
医療ビッグデータ事業(千円)	137,359	202.7
合計(千円)	4,137,175	108.3

(注) 1. 金額は売上原価によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比 (%)	受注残高	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業(千円)	3,407,451	104.4	1,529,707	108.2
パッケージ事業(千円)	835,393	81.4	495,950	71.7
システム販売事業(千円)	966,136	152.4	173,336	57.6
医療ビッグデータ事業(千円)	69,309	58.6	240,662	248.4
合計(千円)	5,278,290	104.7	2,439,657	97.5

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア事業(千円)	3,219,944	108.6
パッケージ事業(千円)	752,046	90.7
システム販売事業(千円)	931,845	108.0
医療ビッグデータ事業(千円)	103,307	292.1
合計(千円)	5,007,143	106.7

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本㈱	472,237	10.1	314,603	6.3
㈱ダスキン	318,209	6.8	311,693	6.2
T I S㈱	184,326	3.9	220,510	4.4

3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。